

# 2021 年度 川崎医学会総会議事録

2021 年 7 月 31 日

日時：2021 年 7 月 31 日（土）12:30～13:00

二郎先生、花山耕三先生、増田清士先生、宮地禎幸先生、和田健二先生

場所：現代医学教育博物館 3 階展示室

## 1. 会則の変更・追記（塩谷運営委員長）

会則の変更・追記事項として、名誉会員を廃止すること、評議員は川崎医科大学教授（特任教授、学長付教授を含む）を推すこととすること、機関誌編集委員会や学術講演会は運営委員会の下で活動を行うことが提案・審議・承認された。

## 2. 人事（塩谷運営委員長）

以下の人事が提案・審議・承認された。

**運営委員長【交代】** 大槻剛巳先生 ⇒ 塩谷昭子先生

**監事(会計監査)【交代】** 松田純子先生 ⇒ 松本啓志先生

**評議員【就任】** 伊藤達男先生、太田博明先生、沖本二郎先生、片山 浩先生、勝井邦彰先生、金澤 右先生、神田英一郎先生、杉本 研先生、猶本良夫先生、中野和久先生、中村丈洋先生、野田知之先生、羽井佐実先生、長谷川健二郎先生、伏谷建造先生、増田清士先生、松田純子先生、宮島孝直先生、吉松和彦先生、レオン佐久間先生

**評議員【退任】** 稲川喜一先生、尾内一信先生、大槻剛巳先生、小野和身先生、小島 淳先生、平塚純一先生、宮本 修先生、泰山浩司先生、園尾博司先生、名木田恵理子先生

※評議員における学内・学外の区別は廃止

**機関誌編集委員会・編集委員長【交代】** 大槻剛巳先生 ⇒ 塩谷昭子先生

**機関誌編集委員会・編集副委員長【交代】** 塩谷昭子先生 ⇒ 西松伸一郎先生

**機関誌編集委員会・編集委員・教養篇担当【交代】** 泰山浩司先生 ⇒ 西松伸一郎先生

**機関誌編集委員会・編集委員** 岡本安雄先生、鎌田智有先生、近藤英生先生、玉田 勉先生、戸田雄一郎先生、藤原由規先生、石原武士先生、小賀 徹先生、神田英一郎先生、田中克浩先生、長谷川健

## 3. 諸規定の変更（塩谷運営委員長）

名誉会員の廃止、退職者の会員資格継続の扱い、機関誌掲載論文の登録データベース、一般教養篇の投稿日程、医学会講演会の視聴についての諸規定の変更が提案・審議・承認された。

## 4. 機関誌投稿規定の変更（塩谷運営委員長）

倫理審査承認の明示、利益相反の申告、関連指針の遵守、申込書の提出方法、締め切り厳守の徹底等についての変更点が提案・審議・承認された。

## 5. 会計（塩谷運営委員長）

### （1）2020 年度決算案

2020 年度決算について説明され、新型コロナウイルス感染拡大の影響による医学会講演会の減少で大幅な余剰金が発生したこと等が説明された。監事の松本啓志先生より、6 月 3 日に実施された会計監査で会計処理が適正と判断されたことが報告され、審議・承認された。2015 年度以降、特別会計を切り崩す形で一般会計への繰り入れを行っており、本年度は特別会計の残高は前年度と同じく約 2,000 万円となった。特別会計の約 2,000 万円について、管理運営の利便性を考慮し、野村證券の公社債投信から中国銀行の定期預金に移行したことが報告された。

### （2）2021 年度予算案

新型コロナウイルス感染状況により、医学会講演会の開催状況の見通しが立たず、予測が難しい状況であるが、概ね例年どおりの予算案を組むことが提案され、審議・承認された。研究ニュース印刷代（50 万円）を研究支援費として新たに計上すること、また、医学会設立 50 周年記念事業への積立金として 150 万円を計上することが提案・審議・承認された。

## 6. 機関誌編集委員会 (塩谷編集委員長)

(1) 2020 年度秋季編集委員会 (メール会議)  
日時: 2020 年 11 月 2 日 (月)  
刊行状況、編集委員会組織、及び EBSCO 契約について議論されたことが報告された。

(2) 2021 年春季編集委員会  
日時: 2021 年 3 月 4 日 15:00~  
場所: 6 階カンファレンス室 1  
医学会誌論文賞、編集委員会人事、及び刊行状況等について議論されたことが報告された。

(3) 2021 年臨時編集委員会  
日時: 2021 年 6 月 9 日 17:15~  
場所: 6 階カンファレンス室 1  
投稿規定の改定、統計、KMJ、及び編集委員の増員 (呼吸器内科: 小賀 徹先生、精神科: 石原武士先生) について議論されたことが報告された。

## 7. 機関誌査読用紙の変更 (塩谷編集委員長)

機関誌査読用紙の中で、倫理性と利益相反開示に関する評価部分が分かり易い形に変更されたことが報告された。

## 8. 機関誌刊行状況 (塩谷編集委員長)

刊行状況について以下のように報告された。2020 年度は川崎医学会誌 (和文誌) に 11 本、Kawasaki Medical Journal (英文誌) に 23 本、一般教養篇に 6 本の論文が刊行された。2021 年度は投稿数が増えており、現在のところ、川崎医学会誌に 17 本、Kawasaki Medical Journal に 20 本の論文が査読中を含めて投稿されている。

## 9. 川崎医学会賞 (塩谷運営委員長)

【研究奨励賞】 大学・研究委員会より

佐々木恭先生

Nanoparticle-Mediated Delivery of 2-Deoxy-D-Glucose Induces Antitumor Immunity and Cytotoxicity in Liver Tumors in Mice. *Cellular and Molecular Gastroenterology and Hepatology*. 11(3):739-762,2021

doi: 10.1016/j.jcmgh.2020.10.010.

【医学会誌論文賞】 医学会・編集委員会より

浦田矩代先生

非アルコール性脂肪性肝疾患における Shear Wave Elastography (SWE) と肝線維化マーカーの組み合わせによる肝線維化診断の予測の検討

川崎医学会誌 46:55-64,2020

doi: 10.11482/KMJ-J202046055

瀬戸口義尚先生

Functional assessment of retinal pigment epithelium cell transplants with various degrees of pigmentation for age-related macular degeneration.

*Kawasaki Medical Journal* 46:49-58,2020

doi: 10.11482/KMJ-E202046049

上記受賞者 3 名は本日開催の学術集会において受賞講演・授賞式を行う予定であったが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で学術集会が縮小開催されるため、7 月 7 日に学長室にて既に授賞式のみを行い、その写真を川崎医学会ホームページ上で公開していることが報告された。  
(佐々木恭先生は、米国留学中のため欠席)

## 10. 川崎医学会講演会 (長洲委員)

(1) 2020 年度実施状況

計 12 回の講演会 (学外講演者 2 回、学内講演者 10 回【全て新任教授講演会】) が行われたことが報告された。

(2) 2021 年度実施状況及び予定

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、2021 年度は現時点で 6 月 2 日に開催された 1 回のみであり、9 月 10 日に 2 回目が開催予定であることが報告された。また、新任教授講演会は計 18 回が開催される予定であることが報告された。

文責: 庶務 橋本